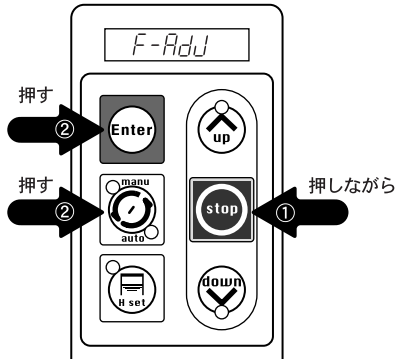


② 機能の設定 ②-1 通常表示パターンの設定

1. 機能設定モードに切り替える

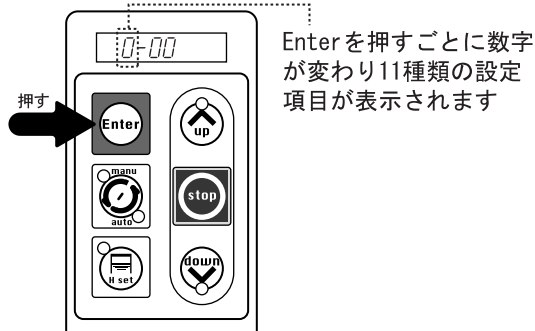
機能設定モードへの切替



+ + を同時に2秒以上押すと「ピー」というアラーム音が鳴り、表示部に **F-Adj** と表示され、その後間もなく **0-00** と表示され、機能設定モードに切り替わります。

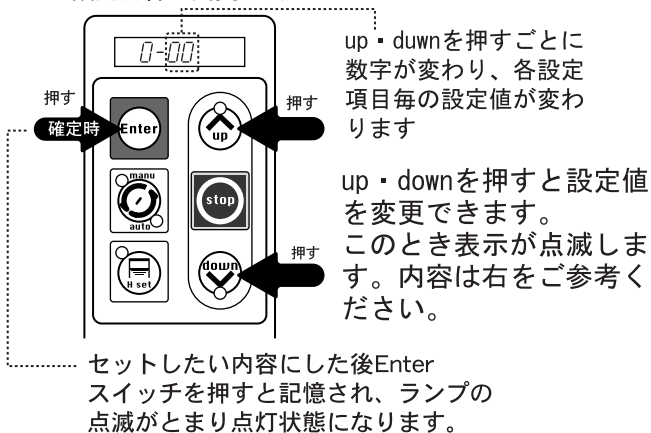
2. 設定項目を呼び出す

設定項目を切替え、0にあわせる



3. 設定内容を変更する

設定内容の変更方法



0-00 動作回数表示 ※1

0-01 時刻表示 ※2

0-02 温度1表示 ※3

0-03 温度2表示 ※3

0-04 温度1,2交互表示 ※3

※1 出荷時は **0-00** で設定しております。

※2 通信基板(注文品)が必要です。

※3 通信基板(注文品)と温度センサーが必要です。

4. 設定を終了する

設定を終わり、運転モードに戻る場合は、設定モードに切り替えた時と同じ操作を行うことで設定モードから運転モードに復帰します。

+ + を同時に押し運転モードに切り替えます

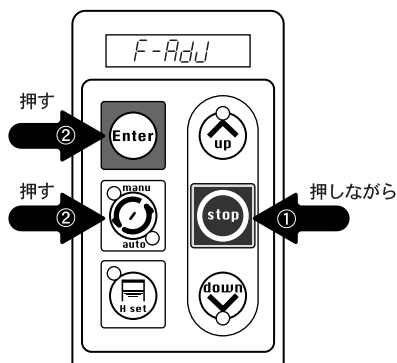
② 機能の設定

1. 機能設定モードで行える各種設定

- ②-1 : 通常表示パターンの設定
- ②-2 : 上限停止時間の設定
- ②-3 : 開口高運転設定
- ②-4 : 起動センサー遅延設定
- ②-5 : 機種設定
- ②-6 : 上昇速度設定
- ②-7 : 下降速度設定
- ②-8 : 光電管キャンセル機能切替
- ②-9 : 回転灯・信号機運転モード設定
- ②-10 : インターロック動作設定

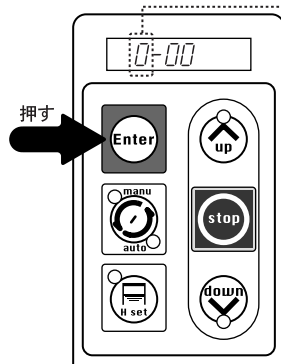
2. 機能設定モードに切り替える

機能設定モードへの切替



stop + **manu** + **Enter** を同時に2秒以上押すと「ピー」というアラーム音が鳴り、表示部に **F-Adj** と表示され、その後間もなく **0-00** と表示され、機能設定モードに切り替わります。

設定項目の切替方法



Enterを押すごとに数字が変わり11種類の設定項目が表示されます

Enterを押すと設定項目を示す表示部の左端の数字が **0 ~ 10** と切り替わります。
出荷時の表示と項目は以下の内容です。

設定内容の変更方法



up・downを押すごとに数字が変わり、各設定項目毎の設定値が変わります

up・downを押すと選択した項目の設定値が変化します。点滅時はまだ確定していません。Enterを押すことにより「ピー」とアラームが鳴り、点滅より点灯に変わり設定値が記憶されます。設定値は以下の内容です。

1	0-00	通常表示パターンの変更 5パターン	00 ~ 04
2	1-03	上限停止時間の変更 1~30秒 1秒間隔	01 ~ 30
3	2-HPO1	開口高運転パターンの変更 4パターン	01 ~ 04
4	3-0.1	起動センサー遅延時間の変更 0.1・0.5~5.0 (0.5秒間隔)	0.1・0.5 ~ 5.0
5	4-	使用機種の変更 門番の型式によって変更	
6	5-	上昇速度の変更 4パターン	
7	6-	下降速度の変更 4パターン	
8	7-OFF	光電管キャンセル機能の変更 ON・OFF	00・OFF
9	8-1	回転灯・信号機の運転モード変更 3パターン	1~3
10	9-OFF	インターロックの運転モード変更 OFF・4パターン	OFF・1~4
11	10-00	メイン基板の局番設定	00 ~ 32

※ご注文の型式に合わせて出荷しております

※この機能を使う場合はオプション基板（注文品）が必要です

※通信基板（注文品）を使う場合に設定します